

## 第2期豊岡市子ども・子育て支援事業計画（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）の結果と回答について

### 1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見募集期間 2019年12月13日（金）～2020年1月6日（月）
- (2) 公表資料の閲覧方法
  - ア 市ホームページで閲覧
  - イ 文書閲覧
    - (ア) こども育成課
    - (イ) 各振興局地域振興課
    - (ウ) 各子育てセンター
- (3) 意見提出者数 2人（2件）

### 2 意見の概要と意見に対する考え方・回答

ページ	内 容	市の考え方
	<p>「市立幼稚園・保育園を統廃合しその大方を私立園とする」ことに反対します。</p> <p>大方の私立幼稚園・保育園が、福祉的理念のもとに立派な運営をされている一方、一般論ですが一部には、利益を重視するあまり園の運営に支障をきたし、倒産などの廃園・休園で、通園児童の保育等が不可能となり、児童本人、児童の保護者が多大な損失を被る事例も見受けられます。少子化等による園の統廃合については検討の余地はあるにせよ、廃園・休園による心身の苦痛や経済的損失から児童と保護者を擁護する意味においても、大方の幼稚園・保育園を「私立園」とするのではなく、現行の「公立（市立）幼稚園・保育園」を堅持していただきたい。</p>	<p>本計画（豊岡市子ども・子育て支援事業計画）は、豊岡市の就学前の教育・保育及び放課後児童並びに地域子ども・子育て支援事業の「量の見込みと確保方策（提供体制）」を示す計画で、その確保方策である就学前施設の再編・統合等については、『豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画』を基にすることとしています。</p> <p>そのため、いただいたご意見は、本年8月策定予定の施設の再編整備計画の意味合いを持つ「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」の検討において市の考え方をお示しさせていただくこととし、今回の回答は差し控えさせていただきます。</p>

81	<p>SSW（スクールソーシャルワーカー）の活用とあるが、豊岡市は広域なので、人数を増やさないとケースに十分対応できないと思う。どのような形で活動しているのか、機能しているのか知りたい。</p>	<p>現在、SSW2人体制で市内9中学校に週1日配置し、小学校についても要請により対応しています。</p> <p>県から9中学校に週1日配置されているSC（スクールカウンセラー）とSSWの連携についても配慮しているところです。</p> <p>SSWの役割は、子どもが抱えている問題の原因が環境にあるという観点から、福祉・医療などに結びつけることによって問題を解決していこうとするものです。</p> <p>具体的には、学校の先生から子どもや家庭の状況を聞き、その情報をもとに、先生やSCとともに、どうしたら子どもとその保護者が望む生活を送ることができるのか、SSWは福祉的な視点から支援の方法を考えていきます。</p> <p>学校や先生方だけでは対応が困難な場合は、学校外の様々な保健・医療・福祉の相談につないだり、福祉サービスを利用できるよう支援しています。</p>
----	---	---